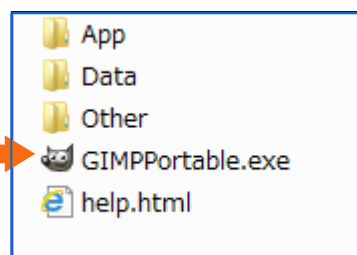


# GIMPによる邪魔もの消し

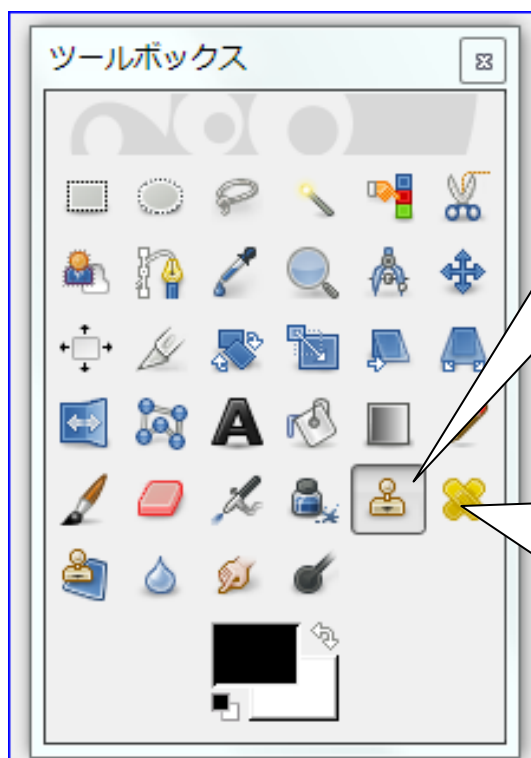
フリーソフト GIMP の講座第 3 弾として今回は写真に写り込んだ邪魔な画像を削除し、汚れも消して被写体のみのすっきり写真に整える方法を勉強します。

## 1. GIMP (GIMPPortable) を起動する

この印が起動アイコンです



## 2. 撮影時に写ってしまった邪魔ものを消す




### 《スタンプ描画》

邪魔もの消しで使います。  
必要な画像を選択、コピーし  
邪魔ものの上に選択画像を貼り  
付けて、邪魔ものを隠すのが消  
す操作の意味です。

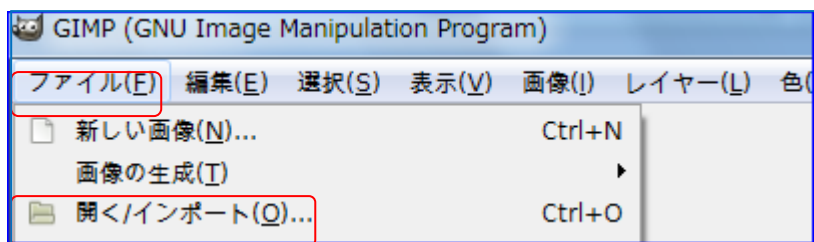
### 《修復ブラシ》

汚れを消す目的で使います  
背景を選択し、汚れの上を  
クリックすることで背景色は  
そのままに汚れのみ消します。

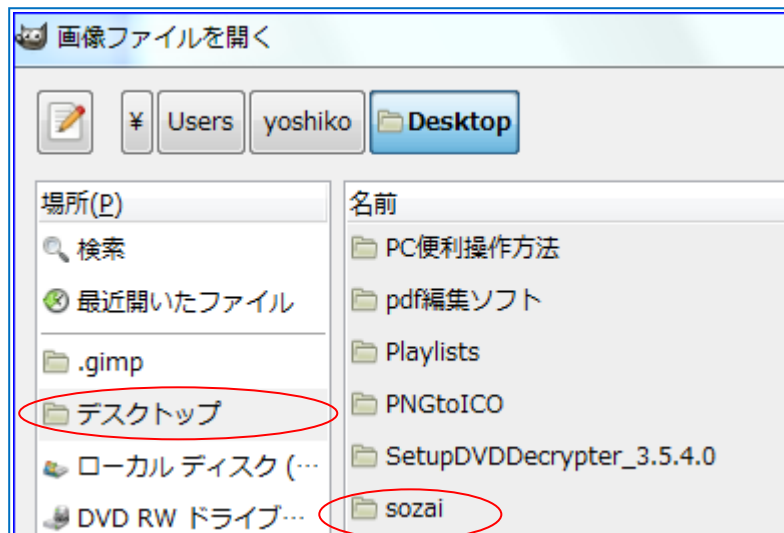
3. 写真に写りこんだシルエット人物をスタンプ描画で消す 

## ① 写真を読み込む

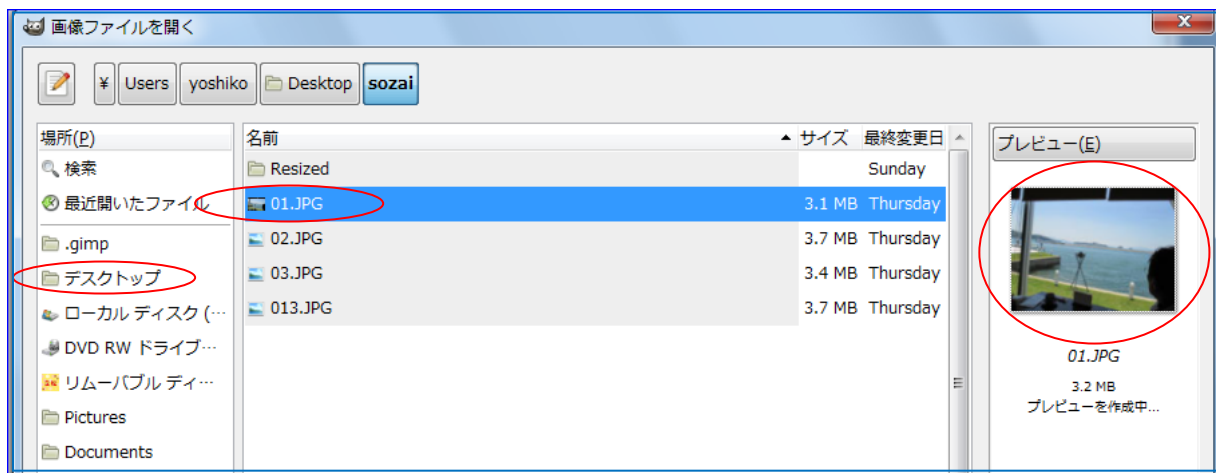
ファイルより開く




「画像ファイルを開く」ダイアログが開くので講座では場所からデスクトップ名前から sozai を開き写真の 01 を選択する



ここから 01 を選択するとプレビューに使用する写真が表示されます。



右下の  をクリックすると選択した写真が開きます。

左の写真からシルエットの黒い顔を消して右の写真にします。



## ②前準備

ブラシが表示されていなかったら表示させておく

ウインドウよりブラシを選択

使うブラシを選択しウインドウよりドッキング可能なダイアログを選択する  
ツールオプションを選択し開く

ウインドウ(W) ヘルプ(H)

最近閉じたドック(R)

ドッキング可能なダイアログ(D)

ツールボックス Ctrl+B

[01] (インポートされた画像)-90.0 Alt+1

ツールボックス

ブラシ

ドックを隠す

シングルウィンドウモード

ツールオプション(O)

デバイスの状態(D)

レイヤー(L)

チャンネル(C)

パス(P)

ツールオプション

スタンプで描画

モード: 標準

不透明度 100.0

ブラシ

2. Hardness 075

サイズ 171.00

縦横比 0.00

角度 0.00

ブラシを選択  
右下クリックからでもブラシ選択ができる。

サイズの変更  
サイズの右▼▲をクリックすることで  
サイズ変更を行う

## 4. シルエットに貼り付けるための波をコピーする

コピーするブラシを大きくすると広範囲に貼り付けるとき時間短縮になる。  
細かい作業が必要な場所はブラシサイズを小さくすると作業がしやすい。

●アイコンは最初はこのようになっています



●ctrl を押さえてクリックするとアイコンはこの形になりコピー完了です



外側の丸い点線がブラシサイズです

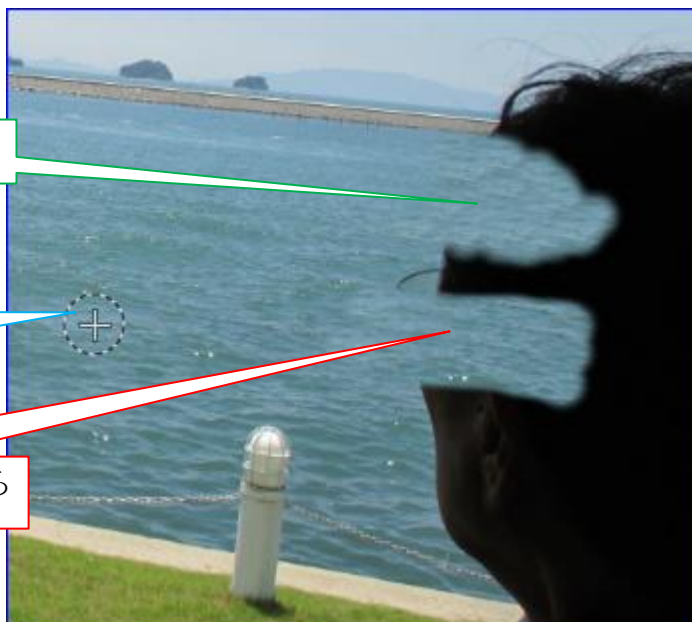
## 5. シルエットの上にコピーした波を貼り付ける

- ① シルエットの上をマウスでクリックするとピンポイントで貼り付き消える。
- ② シルエットの上をマウスでドラッグすると広範囲に貼り付き消えるので便利。

クリックで消した（貼り付けた）ところ

海のコピーした場所は  
このような形で表示される

ドラッグで消した（貼り付けた）ところ



クリック、ドラッグを駆使して出来るだけ自然に見えるようにします  
ここは波なので流れに沿って斜めドラッグが自然になるかと思う  
貼り付けの上に何度でも手直しは可能なので、今回は貼り付け練習を兼ねて  
絵筆を使うように自然な海に仕上げましょう。

## 6. 消した画像を元画像に戻す方法

- ① 編集より作業履歴をクリックする
- ② 開いた履歴より戻したい画像をクリックすると選択した画像が表示される。  
貼り直し回数が限度を越えると、元画像まで戻せない場合もある。
- ③ 元画像まで戻す場合は貼り付け回数 50 回程度までで戻しましょう。



画像の消し方（貼り付け）で履歴の回数が変わります。

1回で一筆書きのようにドラッグすると履歴は少ないですが、クリックで1回ずつ離すと回数は非常に増えます。（1回クリックで1つの履歴画像が作成されると考える）

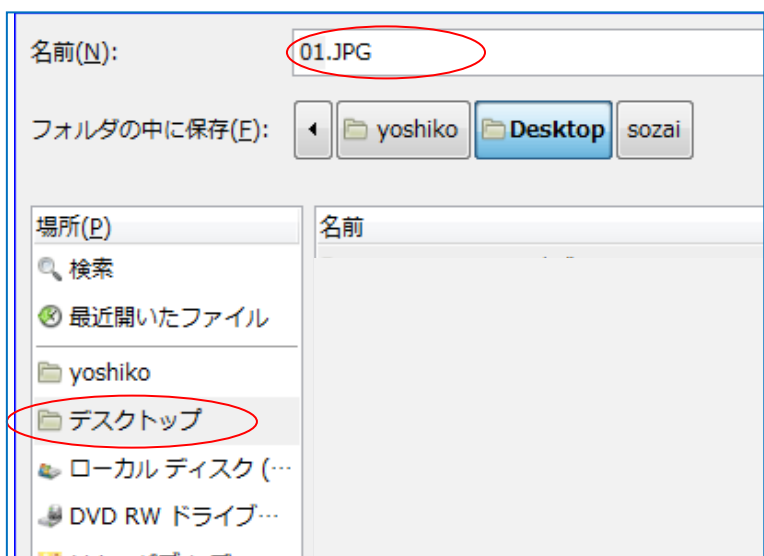
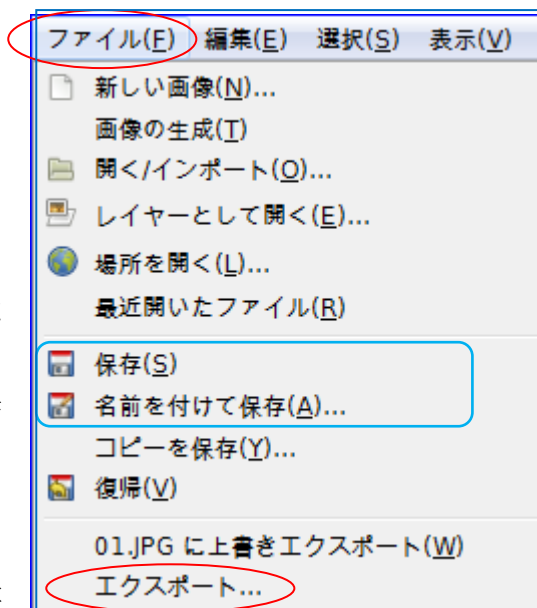
下の写真はシルエットを一筆描きの要領でマウスをドラッグした画像です。

何度も書いているように選択箇所をコピーし、貼り付けて消したい画像を覆っています。コピーの選択場所の点線丸印はブラシサイズで決まりますが、コピーした画像の始点はマウスポイントです。ドラッグで全体を塗りつぶすとこのように不必要な箇所まで入る。これを避けるためにはコピーの選択位置を考えるとドラッグはある程度までにする。



## 7. 完成した写真を保存する

- ① JPG で保存する場合はファイルより  
エクスポートを選択する
- ② デスクトップを選択し、名前を変更後  
エクスポートを選択する。
- ③ GIMP で編集できる拡張子で保存する場合は  
**保存**、または**名前を付けて保存**を選択する
- ④ **保存**を選択すると上書きになり元画像が無  
くなります。  
**名前を付けて保存**を選択すると別名になり  
保存場所もデスクトップを選択できるので  
今回はこちらを選択し、デスクトップに保存  
します。拡張子は xcf 形式になります。



## 8. 修復ブラシを使って汚れを消す



- ① デスクトップの sozai を開き 02 の写真を読み込む  
(分からない場合は 2 ページ 3-①を参照)  
今回は汚れ写真の代わりにドアに描かれた模様を消しますが、使用用途としては  
「スキャナーで取り込んだ写真の汚れを消す」ために使用が有効な活用方法です。

左の写真の赤丸の場所を消すと右の写真になります。



② 1の模様を消す

ブラシサイズを消すものより大きくし、Ctrl を押してタイルの色をクリックして取り込んだのち、模様の上でクリックして消す。

③ 2の模様を消す

ブラシサイズをドア枠に掛からないサイズまで小さく変更する。ドア枠にかかると枠とタイルの境界がぼやけるので細心の注意が必要。

取り込みは終わっている所以模様の上でクリックすると消える。


④ 1と2両方とも消したら完了です。

9. 完成した写真を保存する

写真の保存は6ページを参照して保存します。

※ 汚れを消す場合は1回のクリックで消えるようにブラシサイズを模様（汚れ）の大きさに揃えるときれいに仕上がる。

※ 1回で消えない場合は数度のクリック処理にし、ドラッグは不自然になるので避ける方がよい。

※ 消しゴム  との違いは、修復は汚れのみ消えて背景は残すが消しゴムは全て消える。

## まとめ

スタンプ描画と修復ブラシで用途の違いについて

スタンプは、写した写真上の不必要な画像の上に新しく色又は画像を貼り付けて結果的に不必要な画像を隠してしまう操作です。

修復ブラシは、写した写真を貼り付けるのはスタンプと同じですが「修復先の画像情報を加味しながら貼り付ける」。これによって修復先の画像が大きく変化することないので汚れ消しなどに向いている。